



災害に強いまちづくりを

議長 岡田 文雄

あけましておめでとうございます。

平成29年の年頭に当たり、笠松町議会を代表しましてごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、町政発展並びに議会運営諸般にわたり、格別なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年の干支は「酉」です。酉（鶏）は、他の動物に先駆けて朝一番に鳴き、夜が明けたことを周囲に知らせてくれる存在であり、また「取り込む」のトリとかけて、昔から縁起が良いとされております。新年は景気が上向き、良い年になることを願いたいものです。

さて、昨年を振り返りますと、4月の熊本地震を始めに、鳥取県中部地震、福島県沖地震など大きな地震が多発した一年でした。また、台風による被害も全国各地で発生しており、特に8月の台風第10号では、東北・北海道地方に大きな被害が発生しました。

あの東日本大震災から早6年が過ぎようとしておりますが、この間にも地震はもとより、集中豪雨、洪水と自然災害の脅威を思い知らされたところであり、災害対策の重要性を痛感いたしました。

こうした中、議会といたしましても、これらの被

災地における対応から学び、災害復旧や避難所運営など、取り組むべき諸課題について町執行部に提案するとともに、地域防災計画の見直しにより「災害に強いまちづくり」を町一丸となって進めております。

また、昨年6月には前計画の期間終了に伴い「笠松町都市計画マスタープラン」が策定され、「災害に強いまちをつくる」や、「住民が主役のまちをつくる」など、5つのまちづくりの目標が設定されました。これらの目標の達成は、行政だけでは成し遂げられません。住民参加により、行政と住民が協働して取り組み推進していく必要があります。議会は、行政と住民のパイプ役として、町執行部からの提案をしっかりと検証し、町政へのチェック機能を一層強化するとともに、民意を的確に反映した町政の実現に努めていかなければなりません。

引き続き厳しい財政事情の下、無駄のない行政運営と町振興発展のため、私たち議員は信頼のある議会運営に更なる努力をしてみたいです。

本年も議会活動への一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成29年 笠松町議会